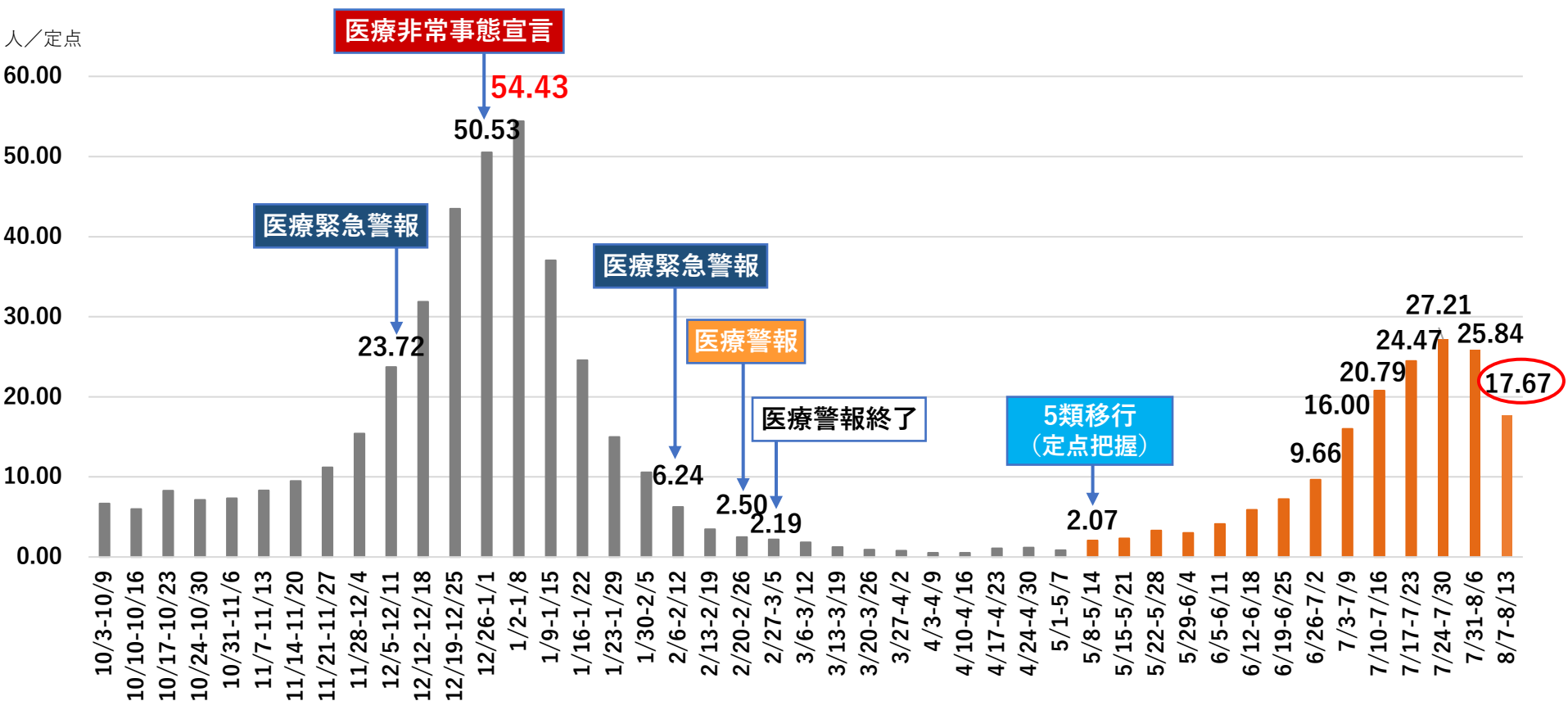


定点当たりの報告数

- ・8月7日の週は17.67（前週比0.7倍）と、お盆期間中に多くの医療機関が休診となった影響等により、2週連続で前週を下回ったが、過去3年間お盆明けに感染者数が増加しており、引き続き警戒が必要。
- ・県全体の感染状況区分も5週ぶりにオレンジとなった。

・発熱外来のひっ迫を防ぐため、無症状で念のための検査を希望するケースや、症状が軽いケース、証明書等の取得を目的とするケースなど、医療機関を受診する必要がない場合には、国が承認した抗原検査キット等を活用してください。

第8波（R4.10.5～R5.3.2）

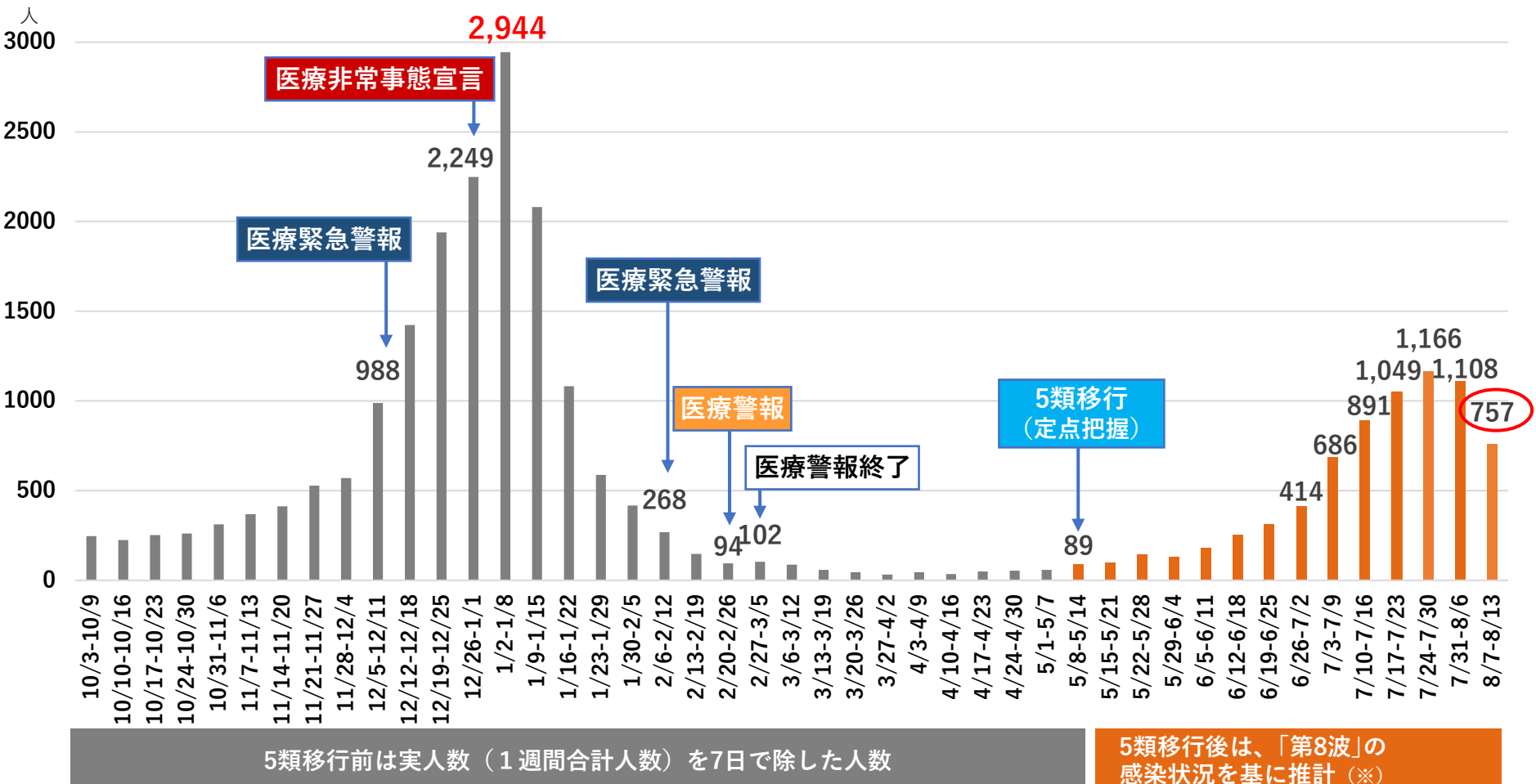


※ 定点医療機関からの報告数 ÷ 58 定点医療機関。5類移行前（定点把握前）の数値は参考値

1日当たりの新規感染者推計（5類移行前は実数）

・8月7日の週の推計値は757人となっており、4週ぶりに千人を下回る水準となった。

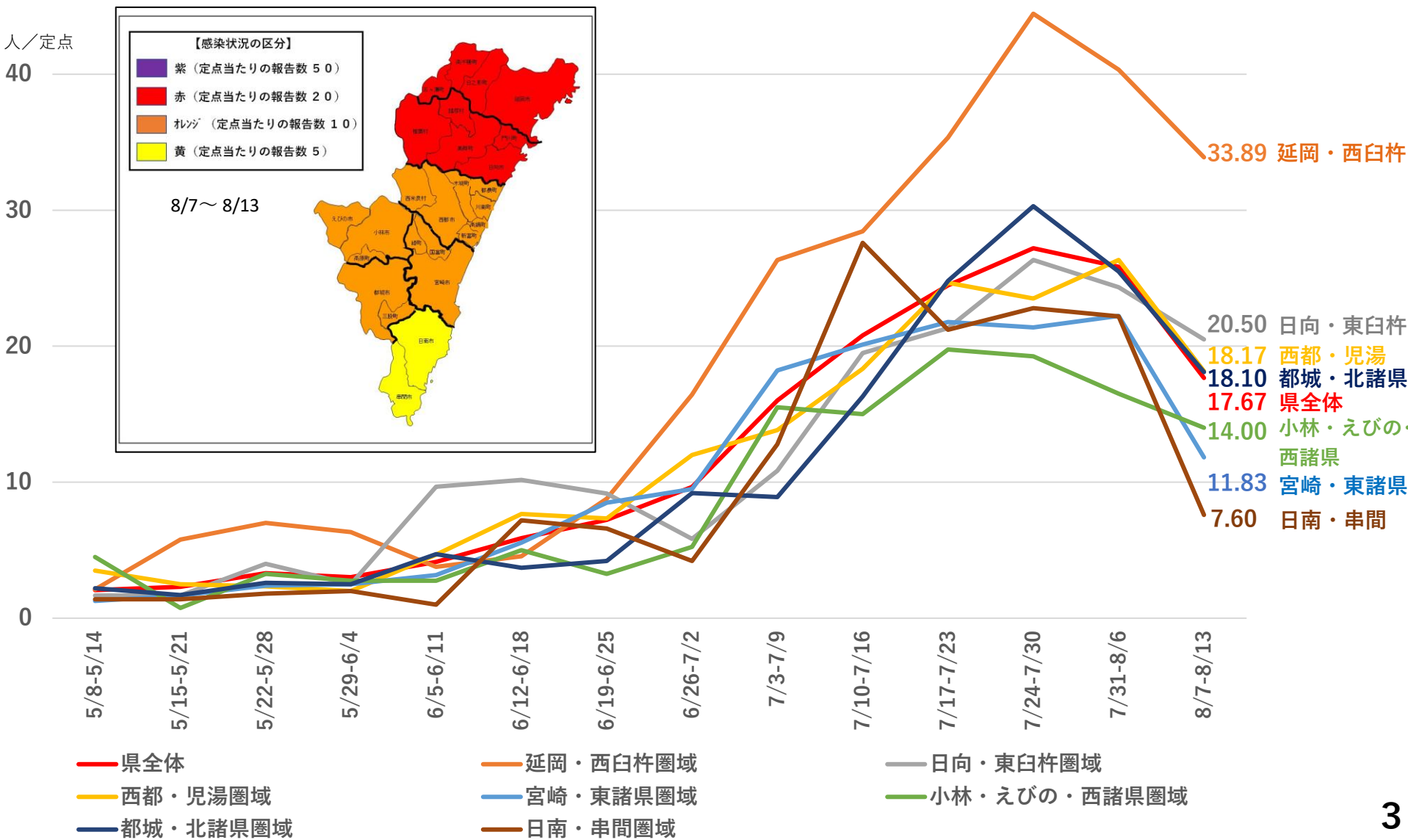
第8波（R4.10.5～R5.3.2）



※ 定点当たりの報告数1に対し、人口10万人当たりの新規感染者数が約30人となることを踏まえ、定点当たりの報告数×30×10÷7日により算出

(圏域別) 定点当たりの報告数

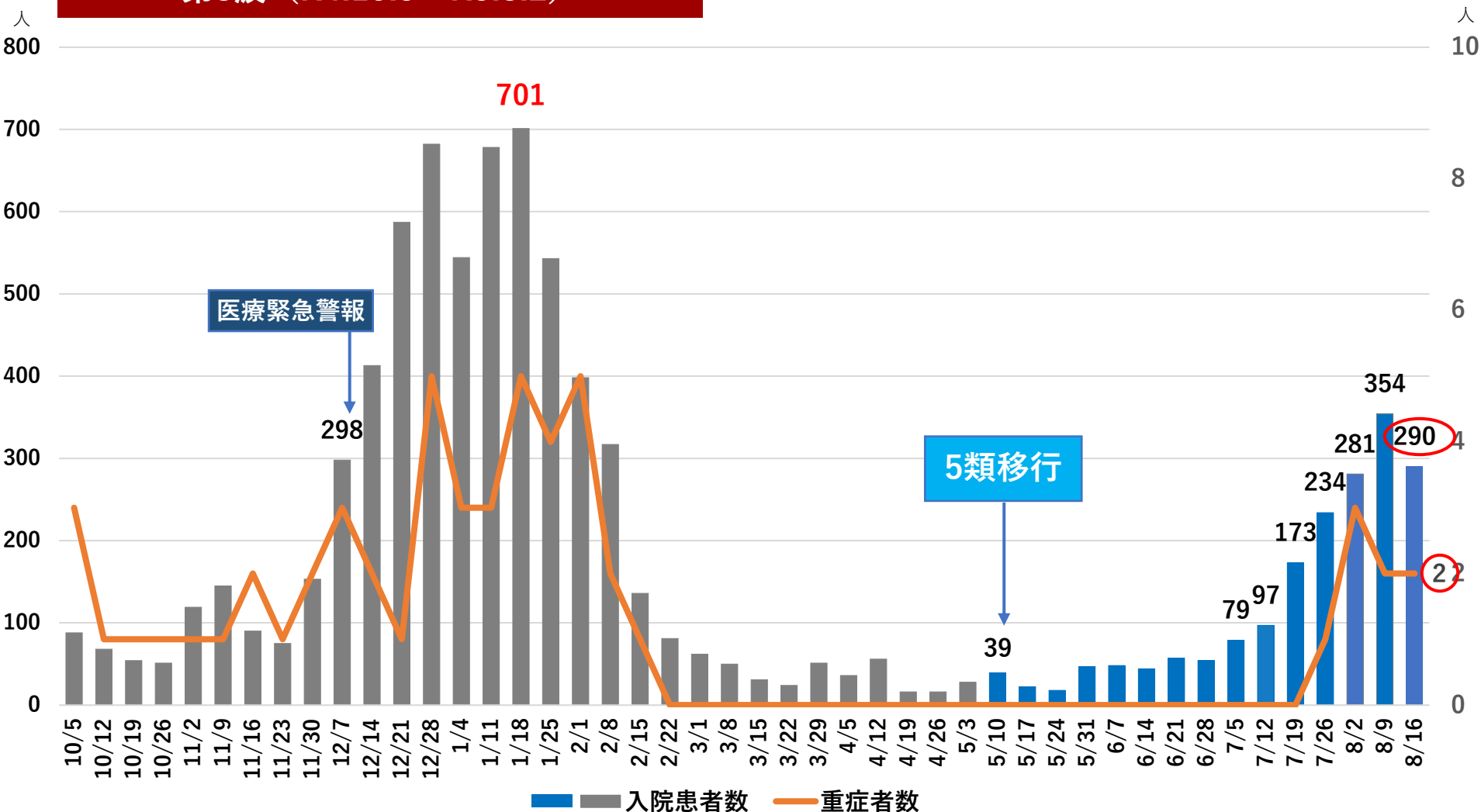
- すべての圏域で前週を下回っているものの、延岡・西臼杵圏域、日向・東臼杵圏域は前週に引き続き赤区分となっている。
- また、日南・串間圏域が黄区分となっている。



入院患者数

・複数の医療機関で院内感染が確認されており、8月16日時点の入院患者数は290名と、引き続き高い水準で推移している。また、重症者数は2名となっている。

第8波 (R4.10.5~R5.3.2)



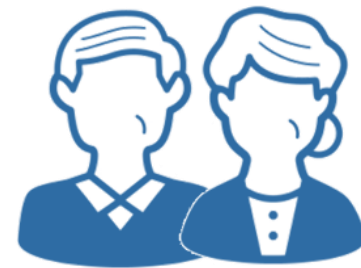
※ 毎週水曜日時点の県内の医療機関からの報告数

夏の感染対策のポイント

高齢者や**基礎疾患のある方**が感染すれば

重症化リスクも高まります

帰省等で高齢の方と会う場合や、
大人数で集まる場合は、
感染予防を心がけ、
体調を整えるようにしましょう。



感染リスクに応じた対策の実践を！

発熱外来のひっ迫を防ぐため、無症状で念のための検査を希望するケースや、症状が軽いケース、証明書等の取得を目的とするケースなど、
医療機関を受診する必要がない場合には、国が承認した抗原検査キット等を活用してください。

その場に応じた マスクの着用や 咳エチケットの実施

熱中症に気をつけながら、周囲の混雑状況など、その場の**感染リスクに応じてマスク着脱の判断を！**

重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、
受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時と、通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時には、マスクの着用を！

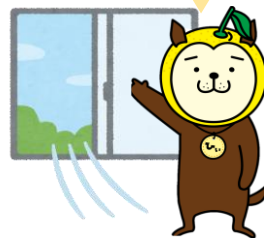


不織布マスクの着用は**感染防止対策として引き続き有効**です！

換気、 三つの密の回避 (密集・密接・密閉)

特に不特定多数の人がいるところでは、**換気や人との間隔を空ける**ことが、感染防止対策として有効です。

窓を閉め切りがちな夏場もこまめな換気の実践を！



手洗いは 日常生活習慣に

食事前、トイレの後、家に帰った時などには、**まず手を洗う**よう心がけましょう。

※適切な手指消毒薬の使用も可

